科目番号	53001	分類	共通科目	履修者	看護科学コース （看護教育・研究者プログラム）	学年
科目名	看護理論 （ Nursing Theory ）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 前期

担当者	○髙橋　智子	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
看護学の発展の中で、看護理論がどのような経緯で開発されてきたかを概観したうえで、主要な看護理論の特徴や限界を検討すると共に、自らの経験と照らして看護の実践・教育・研究における看護理論の適用と課題を考察する。 1. 看護学の発展と共に、看護理論がどのような歴史的経緯で開発されたのかを理解する。 2. 看護理論を評価する枠組みを理解し、この評価枠組みを用いた分析を通し、主要な看護理論の特徴や限界を検討する。 3. 自らの経験に照らして、それぞれの専門領域の実践・教育における看護理論の適用と課題を考察する。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力
	○	4. 実践を行いながら学部学生の臨地実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回 第2～5回 第6～10回 第11～15回	ガイダンス 看護理論の発展の歴史 看護理論とは 　看護理論の定義、理論の構成要素、理論の範囲 看護理論の分析と評価の理解 主要な看護理論の分析と評価 主要な看護理論の看護実践・教育への理論の適用 主要な看護理論の活用に向けた課題	髙橋
事前・事後学習	事前学習：事前配付されたプレゼンテーション資料に目を通し、ディスカッションの準備をする。 事後学習：資料の加筆・修正、ディスカッションのまとめを行う。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。	
評価の方法	プレゼンテーション40%　　プレゼンテーションの参加度 20%　　課題レポート 40% フィードバック（意見交換・プレゼンテーションの総評、課題レポートの総評等）は適宜行う。	
◎テキスト 参考図書 ・資料等	◎筒井真優美編(2020). 看護理論家の成績と理論評価 第２版. 医学書院. ・ Meleis, A.I(2017)/中木高夫監訳(2021). セオレティカル・ナーシング 原著第 6 版-看護理論の開発と進歩. 看護の科学社 ・ Meleis, A.I(2017). Theoretical Nursing: Development and Progress (6thEd.). Lippincott Williams & Wilkins. ・Fawcett,J.(1993)/大田喜久子・筒井真優美監訳(2008). フォーセット看護理論の分析と評価 新訂版. 医学書院. ・Walker, L.O &Avant, K.C.(2018) Strategies for Theory Construction in Nursing(6thEd.) .Pearson. ・Chinn,P.L &Kramer,M.K.(2021) Knowledge Development in Nursing: Theory and Process (11thEd.). Elsevier. ・その他：看護理論家による著書	
備　　考	本授業はゼミナール形式で行う。 オフィスアワーについては、学生便覧を参照して教員と事前に日程を調整する。 授業方法の詳細については、ガイダンス資料を参照する。	